

「資金分配団体」NPO 法人 ACOBA の事業名は 「ウィズコロナ地域活動再開計画」

さてこの休眠預金活用事業、資金分配団体、実行団体とも、事業計画・予算計画をしっかり立て、進捗報告するのは当然ですが、普通の助成金と違うのは、事業実施過程で心強い伴走支援がつくこと。



「指定活用団体」である

JANPIA は明確な理念のもと「資金分配団体」をサポートし、資金分配団体はプログラムオフィサーと共に「実行団体」を伴走支援する。

その伴走支援がこの事業の大切な要となっています。

先日の中間報告会はその仕組みがとても有効に機能していること実感させてくれました。

応募段階では未熟な部分も残っていた計画が、助成を受けたことにより覚悟ができ、「後に引けない」と引き締め、工夫改良され、どの顔も活力と自信に満ちていました。

大事に大事にため込まれた国民の預金、結局忘れられちゃってかわいそうだったけど、こんな風に活用され、日本中に波及していくのは神業としか思えません。

コロナ禍の中スタートした事業、実行団体同士がリアルに顔を合わせることができたのも初めてで、発表の熱量は半端なかったです。

社会貢献事業をしながらお互いが大きく成長していることをしっかり確認できた中間報告会でした。



このシンボルマークが目印です

「実行団体」(発表順)

●NPO 法人スマイルクラブ

～コロナ時における子ども教育福祉支援事業



●NPO 法人キャリアデザイン研究所

～新型コロナウイルス対応障害者就労支援事業



●NPO 法人ゆこびと

～生活困窮者支援のための市内資源拡充事業



●手賀沼まんだら

～孤立解消のためのコミュニティプレイスの運営



●株式会社新閃力

～「子ども・若者オフィス」の開設



実行団体の研修

(レゴブロックを使ったワークショップ「レゴシリアスプレイ」)

報告会に先立って、午前中は実行団体の研修が行われました。講師はプログラムオフィサーも務める影山貴大さん。

頭の中のイメージを「見える化」することで共有し、対話によって、自分たちの事業を改めて確認する、というものです。頭で思考するのではなく、まず手を動かすようにとのアドバイス。

1. ファシリテーターの影山さんがお題を出す
2. お題に対してレゴブロックで各自が作品作り
3. 作品を元にメンバー間に対話を行う



アヒルを作りましょう！

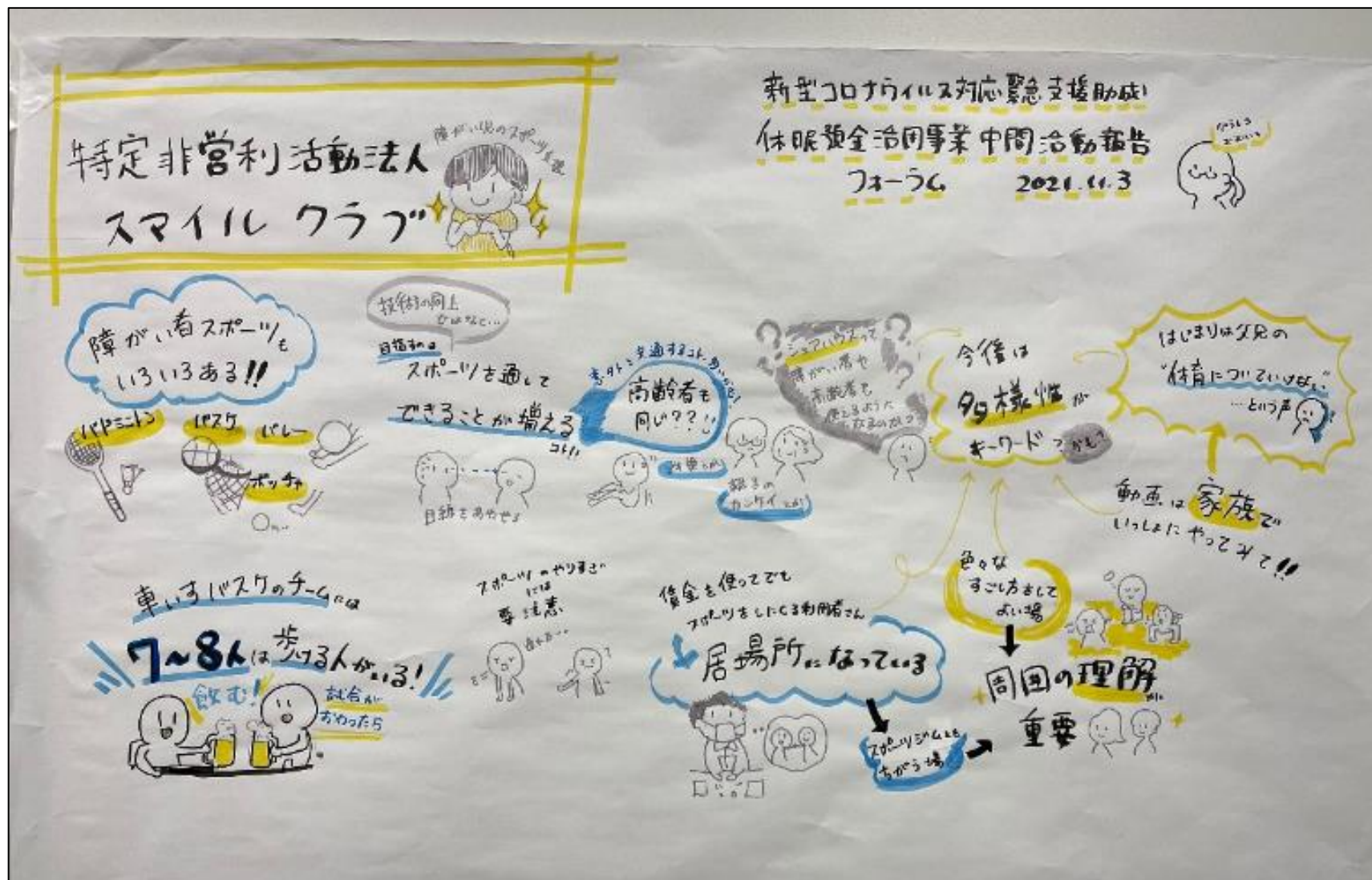




報告会後の交流会で話し合われたことの記録(グラフィックレコード)

グラフィックレコーダー5人が各団体に貼り付いて、内容を聞き取りながらその場で描き上げたものです。

●スマイルクラブ



●キャリアデザイン研究所

休眠預金活用事業で 大変だったことは？

勘定科目とかわからなかった
厚労省の項目がとて
こまかく、それぞれあるのだから、
そこがかわるの？？と悩んだ。

色々と手間...
収支報告...
帳簿所...

他の事業は どうだったのか...

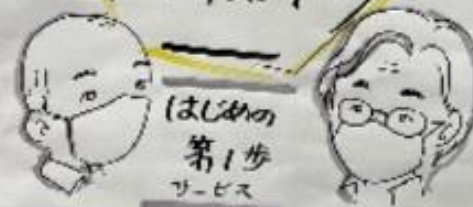
そこは他団体にも
関わるので 楽だった。



新型コロナウイルス対応緊急支援助成 休眠預金活用事業中間活動報告 7月号より

新型コロナウイルス対応 障害者
就労支援事業

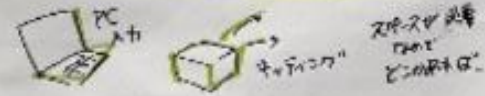
キャリア デザイン 研究所



仕事をしながらの事業は 大変ではなかったか？

様々な働き方...
Wワーク...
自由な目標...
支援...おかげで...

どんな場所が必要ですか？



精神障害の方の支援のポイント

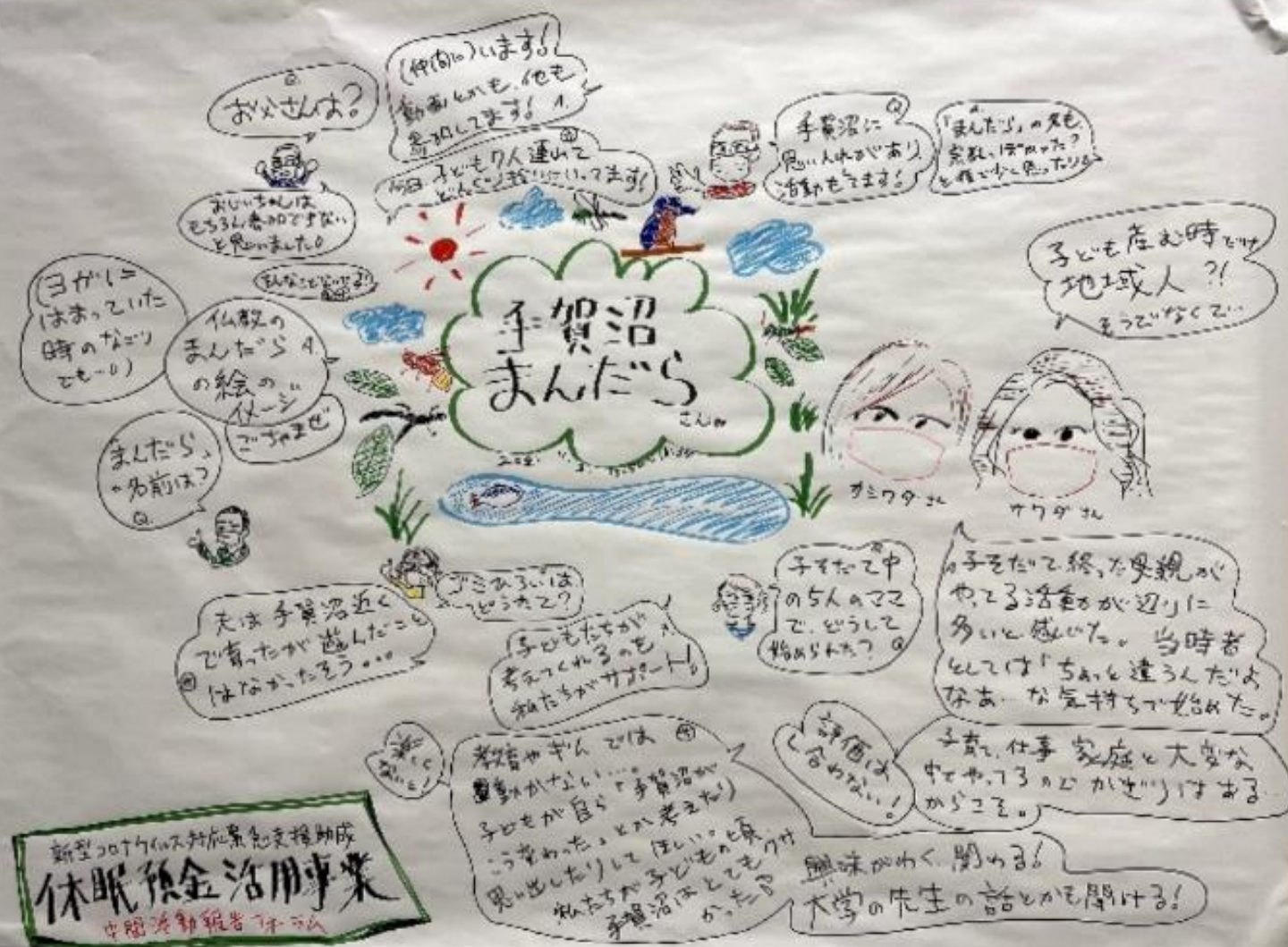
障がい受容
おどろいてもいい。
休みの入れ替えなど
工夫。
グループで成功体験。
「役に立っている」という実感。
指図の出し方の工夫。

継続していくこと



●ゆこびと







住宅 お金

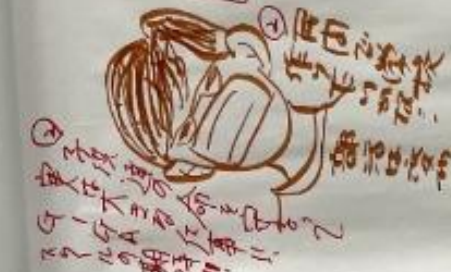
おまかせの住まい
どこに家に行きたいか

行動力
継続力
覚悟

両輪の強み

72歳 年金100万円
高齢者層、年金
収入を出すには
家賃前払 58万
30-40-50代は所得
世代

この強みは、おまかせの住まい
夫への教育と収入を
一緒に!



民間の知識と経験を持つ強み

11月6日 奈良県生駒市



おまかせの住まい

オンラインで世界中のビジネス体験

入居者 0人

おまかせの住まい
おまかせの住まい
おまかせの住まい

株式会社 新閃力
2021.11.3月
尾崎 幸子さん
おまかせの住まい

